

第63回中国・四国精神神経学会
第46回中国・四国精神保健学会

プログラム

特別講演

シンポジウム

ランチョンセミナー

特別講演 1

第1日目 11月10日(金)

第1会場 (2F 国際会議場)

11:50~12:50

座長：武田 俊彦 (公益財団法人慈圭会 慈圭病院)

発達とトラウマを視野に入れた臨床

青木 省三 (公益財団法人慈圭会 精神医学研究所)

特別講演 2

第2日目 11月11日(土)

第1会場 (2F 国際会議場)

11:40~12:40

座長：山田 了士 (岡山県精神科医療センター)

統合失調症の理解と支援のこれまでとこれから

笠井 清登 (東京大学大学院医学系研究科 精神医学)

シンポジウム 1

第1日目 11月10日(金)

第1会場 (2F 国際会議場)

9:40~11:40

統合失調症の改善を更に一步すすめるために

座長：石原 武士 (川崎医科大学 精神科学教室)

沼田 周助 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 精神医学分野)

SY1-1 クロザピンをきちんと届ける

矢田 勇慈 (岡山県精神科医療センター)

SY1-2 当院における地域生活を見据えた一貫したリハビリテーションの現状について

岡崎 智行 (草津病院 医療サポート部 リハビリテーション課)

SY1-3 統合失調症に対する認知行動療法の臨床適用の可能性

耕野 敏樹 (岡山県精神科医療センター)

SY1-4 統合失調症の就労支援

川本 悠大 (社会医療法人清和会 西川病院)

シンポジウム 2

第1日目 11月10日(金)

第1会場 (2F 国際会議場)

15:30~17:30

精神科当事者の権利保護

座長：数井 裕光 (高知大学医学部 神経精神科学講座)

太田 順一郎 (岡山市こころの健康センター)

SY2-1 外来治療での権利保護

藤田 大輔 (大和診療所)

SY2-2 精神科病院における臨床倫理コンサルテーション

石津 秀樹 (公益財団法人慈圭会 慈圭病院)

SY2-3 強制入院制度の今後の見通しと問題点

太田 順一郎 (岡山市こころの健康センター)

SY2-4 精神科当事者の「意思決定支援」と「意思表示支援」

竹田 航 (クオーレ法律事務所)

シンポジウム3

第2日目 11月11日(土)

第1会場 (2F 国際会議場)

9:30~11:30

リエゾンの輪の広がり –多様なセッティングにおけるリエゾン–

座長：長濱 道治 (島根大学医学部 精神医学講座)
和辻 健太 (川崎医科大学総合医療センター 心療科)

SY3-1 救命救急におけるリエゾン

山田 裕士 (岡山大学病院 精神科神経科)

SY3-2 緩和医療におけるリエゾン ～緩和ケアチームにおける精神科医の役割～

倉田 明子 (広島大学病院 精神科/緩和ケアセンター)

SY3-3 急性期病院におけるリエゾン

永井 美緒 (松山赤十字病院 精神科・心療内科)

SY3-4 地域におけるリエゾン

井上 真一郎 (新見公立大学 健康科学部 看護学科)

シンポジウム4

第2日目 11月11日(土)

第1会場 (2F 国際会議場)

14:00~16:00

自閉症スペクトラム障害の現状と課題

座長：上野 修一 (愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座)
稲垣 正俊 (島根大学医学部 精神医学講座)

SY4-1 自閉スペクトラム症診断の現状と課題

村上 伸治 (川崎医科大学 精神科学教室)

SY4-2 薬物療法の現状と課題

兼行 浩史 (山口県立こころの医療センター)

SY4-3 発達障害の精神病状態をどのように理解し、支援するか

鷲田 健二 (公益財団法人慈圭会 慈圭病院)

SY4-4 成人期における生活・就労支援の現状と課題

藤田 純嗣郎 (岡山県精神科医療センター)

ランチョンセミナー1

第1日目 11月10日(金)

第1会場 (2F 国際会議場)

13:00~14:00

座長：中川 伸 (国立大学法人山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座)

総合病院的視点で組み立てる高齢者不眠症診療

平 俊浩 (福山市民病院 精神科・精神腫瘍科)

共催：MSD株式会社

ランチョンセミナー2

第1日目 11月10日(金)

第2会場 (8F イベントホール)

13:00~14:00

座長：兼子 幸一 (社会医療法人仁厚会 医療福祉センター倉吉病院)

炎症標的抗うつ薬の開発の背景と現状
～うつ病治療薬の新たな選択肢を考える～

岩田 正明 (鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野)

共催：武田薬品工業株式会社/ルンドベック・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー3

第1日目 11月10日(金)

第3会場 (B1F レセプションホール)

13:00~14:00

座長：中村 祐 (香川大学医学部 精神神経医学講座)

統合失調症と認知症 認知機能障害の観点から

石原 武士 (川崎医科大学 精神科学教室)

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー4

第2日目 11月11日(土)

第1会場 (2F 国際会議場)

12:50~13:50

The Real

Lecture

座長：高木 学 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学分野)

ブロナンセリン, ルラシドンの薬理特性から期待する臨床的有用性

兼行 浩史 (山口県立こころの医療センター)

Discussion

座長：町野 彰彦 (呉医療センター・中国がんセンター 精神科)

統合失調症治療でロナセンテープとラツータをどのような場面で、どのように患者さんに届けるか

ロナセンテープ派

ディスカッサー：大林 芳明 (福山こころの病院)

渡邊 佑一郎 (医療法人社団玉藻会 馬場病院)

ラツータ派

ディスカッサー：矢田 勇慈 (岡山精神科医療センター)

木下 誠 (医療法人むつみホスピタル)

共催：住友ファーマ株式会社

ランチョンセミナー5

第2日目 11月11日(土)

第2会場 (8F イベントホール)

12:50~13:50

座長：来住 由樹 (岡山県精神科医療センター)

ひきこもりの多面的理解と多層的な支援：くすりからメタバースまで

加藤 隆弘 (九州大学大学院医学研究院 精神病態医学)

共催：ヴィアトリス製薬株式会社

ランチョンセミナー6

第2日目 11月11日(土)

第3会場 (B1F レセプションホール)

12:50~13:50

座長：武田 俊彦 (公益財団法人慈圭会 慈圭病院)

不眠症治療の新展開 - 睡眠薬出口戦略のその先を目指して -

高江洲 義和 (琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座)

共催：エーザイ株式会社

第63回中国・四国精神神経学会

プログラム

一般演題

一般演題 [中国・四国精神神経学会]

第1日目 11月10日(金)

第3会場 (B1F レセプションホール)

一般演題1

9:40~10:25

気分障害1

座長：淵上 学 (広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学)

P01 慢性Stanford A型大動脈解離を合併したうつ病患者に対して上行大動脈置換術後に安全に電気けいれん療法を施行できた一例

○大矢 芳男¹、酒本 真次²、山田 裕士²、竹之下 慎太郎²、樋口 裕二¹、山田 了士⁴、高木 学^{2,3}

¹さきがけホスピタル、²岡山大学病院 精神科神経科、

³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学教室、⁴岡山県精神科医療センター

P02 水害恐怖が遷延し、電気けいれん療法が奏功したうつ病の1例

○薬師寺 晋、村上 伸治、高橋 優、森 祥子、宮崎 哲治、田中 賀大、武藤 遥、後藤 信太郎、松田 旭生、石原 武士

川崎医科大学 精神科学教室

P03 電気けいれん療法の有効けいれんを得るため種々の工夫を要したうつ病の一例

○梶谷 直史¹、吉岡 大祐¹、三浦 明彦¹、林 皓章¹、山梨 豪彦¹、太田 三恵¹、大立 博昭¹、木山 典子¹、小松 弘二¹、飯塚 貴裕¹、山本 大地¹、深町 和広²、岩田 正明¹

¹鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野、²防衛医科大学校病院 精神科

P04 電気けいれん療法により改善したパーキンソン病に伴う精神病性うつ病の2例

○栗山 裕、由田 美沙、杉田 隆裕、皆尾 望、大賀 健市、和田 健

広島市立病院機構広島市立広島市民病院 精神科

一般演題2

10:25~11:00

摂食障害1

座長：梅原 英裕 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 精神医学分野)

P05 低カリウム血症が遷延した重度の神経性やせ症の一例

○安部 裕貴¹、石川 真悠子¹、千田 真友子¹、大塚 勇輝³、大國 皓平³、高木 学²

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学、

³岡山大学病院 総合内科・総合診療科

P06 在宅での生活時間を徐々に延ばし退院を支援した治療困難な男性の神経性やせ症の一例

○白石 生磨¹、三木 知子¹、寺嶋 舞¹、千田 真友子¹、酒本 真次¹、高木 学²

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P07 神経性やせ症動物モデルに対するグルココルチコイド合成阻害薬の効果検討 - 予備実験的レポート -

○河合 弘樹¹、和田 菜那美²、樋之津 健二¹、岡久 祐子¹、酒本 真次¹、高木 学³

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学、

³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

一般演題3

11:00~11:35

児童思春期精神医学 座長：河邊 憲太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

P08 当院で行っているASDに対する早期療育と教育への移行支援について

○赤穂 千尋、井上 悠里、串田 吉生、中島 洋子
医療法人豊仁会 まな星クリニック

P09 当院のゲーム症外来で経験した3例

○金平 隆彰
香川大学医学部附属病院 精神科神経科

P10 うつ病と診断されていた思春期女子の一例

○鹿野 真代¹、鷺田 健二¹、青木 省三^{1,3}、土田 和生²、高橋 菜央¹、藤沢 卓弘¹、
的場 翔也¹、宇野 健一¹、城戸 高志¹、武田 俊彦¹
¹公益財団法人慈圭会 慈圭病院、²公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、
³公益財団法人慈圭会 精神医学研究所

一般演題4

15:30~16:15

統合失調症1

座長：錦織 光（島根大学医学部 精神医学講座）

P11 服用中止によって精神症状が悪化し飛び降りに至った慢性期統合失調症の一例

○池田 駿¹、工藤 昇馬¹、平林 諒¹、由田 実沙²、増田 直哉³、増田 慶一¹、
岡田 剛¹、岡本 泰昌¹
¹広島大学病院 精神科、²広島市立広島市民病院 精神科、
³呉医療センター・中国がんセンター 精神科

**P12 最遅発性統合失調症様精神病をブレクスピプラゾールで治療し、その後アリピプラゾール
持効性注射剤(LAI)の導入に至った1例**

○星尾 崇文、太田 貴士
南部町国民健康保険 西伯病院

**P13 入退院を繰り返す暴力等の問題のある地域移行困難統合失調症患者に対し、リスペリドン
持効性懸濁注射液投与により再入院を抑制した3例**

○木曾 萌香、田岡 秀樹、三柳 耕平、平 奈津子、平山 啓介、坂根 克明、
松本 正樹、野村 晃
ももの里病院

P14 怠薬により手首と舌の自傷に至った統合失調症妊婦の一例

○長尾 崇弘、小林 弘典、仲谷 将隆、長尾 達典、増田 直哉、町野 彰彦
独立行政法人国立病院機構呉医療センター中国がんセンター

神経症／ストレス関連障害1

座長：中瀧 理仁（徳島大学病院 精神神経科）

P15 PPPD（持続性知覚性姿勢誘発めまい）に対して認知行動療法（CBT）を導入した1例

○西川 直人¹、山田 裕士¹、酒本 真次¹、李 大賢¹、山口 恵²、高木 学³¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学病院 医療技術部 臨床心理部門／臨床心理センター、³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P16 不潔恐怖、加害恐怖を主訴に来院した女子大生

○吉田 玲夫、吉田 昌平

医療法人社団吉田会 吉田病院

P17 自閉スペクトラム症と強迫症を併発した患者に対する取り組み

○河野 裕子、小松 静香、津田 敦、赤松 正規、數井 裕光

高知大学医学部附属病院 神経精神科

P18 妊娠中断を希望した、パニック症を抱える精神疾患合併妊婦の一例

○西原 利貴、赤松 正規、津田 敦、數井 裕光

高知大学医学部附属病院 神経精神科学教室

一般演題6

器質・症状性精神障害1

座長：松原 敏郎（山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座）

P19 パーキンソン病に対するDBS治療中に生じた希死念慮から自殺企図に至った一例

○青山 理央、松本 唯、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助

徳島大学病院 精神科神経科

P20 パーキンソン病患者に長期間せん妄が持続し、レボドパ減量でせん妄が改善した1例

○札幌 智博、山科 貴裕、萩原 康輔、松原 敏郎、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

P21 抑うつ症状の再燃に伴い認知機能低下およびパーキンソニズムが生じた1例

○城戸 謙佑、尾崎 優樹、大川 悠真、兵頭 那美、榎木 萌、井上 彩織、坪内 浩一、
吉野 祐太、上野 修一

愛媛大学医学部 精神科

P22 パーキンソン病の改善とともに不安及び抑うつが改善がみられた一例

○大川 悠真、坪内 浩一、城戸 謙佑、兵頭 那美、榎木 萌、井上 彩織、尾崎 優樹、
吉野 祐太、上野 修一

愛媛大学医学部附属病院

一般演題13

16:15~16:50

その他2 座長：三浦 明彦 (鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野)

P45 精神症状に対する漢方薬の頓服としての使用経験

○長濱 道治¹、河野 公範¹、山内 真喜夫¹、飯島 慶郎¹、槻宅 雅史¹、林 真一郎¹、
林 茉衣¹、正岡 浩¹、三原 靖葉²、伊藤 司¹、佐藤 皓平¹、錦織 光¹、山下 智子¹、
岡崎 四方¹、林田 麻衣子¹、大舘 孝治¹、和氣 玲¹、稲垣 正俊¹
¹島根大学医学部 精神医学講座、²特定医療法人恵和会 石東病院

P46 オランザピンの乱用に対する院内の取り組みについて

○赤木 直子、秋山 一文、山下 龍子、河田 敏明
一般財団法人河田病院

P47 精神科におけるLAI (Long acting Injection) 治療について

○江原 良貴
積善病院

一般演題16

16:50~17:25

器質・症状性精神障害4

座長：松本 洋輔 (岡山大学病院 ジェンダーセンター)

P54 精神科領域における驚愕病 (Hyperekplexia) 啓発の重要性

○林田 麻衣子、山内 真喜夫、飯島 慶郎、槻宅 雅史、林 真一郎、林 茉衣、
正岡 浩、三原 靖葉、伊藤 司、佐藤 皓平、錦織 光、山下 智子、岡崎 四方、
大舘 孝治、和氣 玲、稲垣 正俊
島根大学医学部 精神医学講座

P55 透析中の抜針事故で発覚したレム睡眠行動障害の一例

○平 俊浩^{1,4}、小田 幸治^{1,4}、竹本 圭輔^{2,4}、深井 雄太^{3,4}
¹福山市民病院 精神科・精神腫瘍科、²福山市民病院 看護部、³福山市民病院 脳神経内科、
⁴福山市民病院 精神科リエゾンチーム・認知症ケアチーム

P56 橋本病 (慢性甲状腺炎) の男性3例の精神症状

○秋山 一文、高坂 知岳、山下 龍子、河田 敏明
一般財団法人河田病院

一般演題14

16:15~16:50

器質・症状性精神障害2

座長：酒本 真次 (岡山大学病院 精神科神経科)

P48 精神科初診した神経所見を認めない脳腫瘍の三例

○井上 蓉子^{1,2}、山本 和明^{1,2}、北野 絵莉子^{1,2}、和辻 健太^{1,2}、石原 武士¹
¹川崎医科大学 精神科学教室、²川崎医科大学総合医療センター

P49 検査法によって抗体検査結果に不一致が生じた抗NMDA受容体脳炎の1例

○三野 彰理¹、樋之津 健二²、藤原 雅樹²、酒本 真次²、佐々木 諒³、矢田 勇慈⁴、
山田 裕士²、深尾 貴志²、高木 学⁵、山田 了士⁴
¹万成病院、²岡山大学病院 精神科神経科、³岡山大学病院 脳神経内科、
⁴岡山県精神科医療センター、⁵岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P50 高度の球形性貧血を来したアルコール使用障害の1例

○小笠原 康人¹、和辻 健太^{2,4}、北野 絵莉子^{2,4}、井上 蓉子^{2,4}、山本 和明^{2,4}、
秋山 真樹³、石原 武士⁴
¹川崎医科大学総合医療センター 臨床教育研究センター、
²川崎医科大学総合医療センター 心療科、³川崎医科大学総合医療センター 総合内科学1、
⁴川崎医科大学 精神科学教室

一般演題17

16:50~17:25

摂食障害2

座長：千田真友子 (岡山大学病院 精神科神経科)

P57 入院治療が奏功した思春期の神経性無食欲症の1例

○大西 将統、松本 唯、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助
徳島大学病院 精神科神経科

P58 精神科転科後に食事摂取が進み、神経性やせ症の精神病理が早期に軽減された小児摂食障害患者の1例

○光井 瞳、樋口 文宏、原 佳那子、増本 政也、小林 正明、中川 伸
山口大学医学部附属病院 精神科神経科

P59 摂食障害として治療中に新たに脳腫瘍が明らかとなった男児の一例

○森 愛美¹、吉本 康高^{1,2}、高木 衣織¹、赤川 芳樹¹、永野 志歩¹、澤田 健¹
¹高知県・高知市病院企業団立高知医療センター、²高知県立幡多けんみん病院

一般演題7

9:30~10:15

統合失調症2

座長：安藤 延男 (香川大学医学部 精神神経医学講座)

P23 カタトニアの治療にロラゼパムが著効した1例

○高橋 菜央、鈴木 啓嗣、浅田 貴大、池田 智香子、山下 理英子、城戸 高志、
宇野 健一、的場 翔也、藤沢 卓弘、武田 俊彦
公益財団法人慈圭会 慈圭病院

P24 急激な経過で急性腎障害を来した悪性緊張病の1例

○澤田 郁^{1,2}、新井 祐太²、有馬 和志²、坂本 泉²
¹鳥取県立中央病院、²独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 精神科

P25 クエチアピンの過量服薬により痙攣発作重積を来とし、高次脳機能障害を残遺した統合失調感情障害の1例

○皆尾 望、栗山 裕、杉田 隆裕、由田 実沙、川下 芳雄、和田 健
広島市立広島市民病院 精神科

P26 心因性非てんかん性発作 (PNES) 発症と前後して、精神病発症危険状態 (ARMS) に至った一例

○深尾 貴志¹、松本 洋輔²
¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学病院 ジェンダーセンター

一般演題8

10:15~10:50

その他1

座長：上村 直人 (高知大学保健管理センター 医学部分室)

P27 当院のせん妄の対応におけるリエゾンでの当科の処方および他科の処方の10年での変遷

○岡澤 麻耶、越智 紳一郎、河邊 憲太郎、伊賀 淳一、上野 修一
愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座

P28 高知医療センター こころのサポートセンターの5年間の経過報告

○澤田 健、土田 亜希、赤川 芳樹、北代 晶帆、高木 衣織、山本 大介、永野 志歩
高知医療センター こころのサポートセンター

P29 職場のメンタルヘルスと精神医療 ～まきび病院の外来診察の新患経路から考える～

○新谷 敏夫、佐野 晋、守屋 昭、久保 学
まきび病院

神経症／ストレス関連障害2

座長：竹之下 慎太郎（岡山大学病院 精神科神経科）

P30 パニック障害の経過中に著しい腹痛が出現し、腹部片頭痛と考えられた1例

○田中 賀大、松田 旭生、原 依那、後藤 信太郎、武藤 遥、薬師寺 晋、森 祥子、
高橋 優、宮崎 哲治、村上 伸治、石原 武士
川崎医科大学 精神科学教室

P31 うつ病の治療経過中に不可解な上半身の疼痛を生じた青年男性の一例

○飯島 慶郎^{1,2}、山内 真喜夫¹、林 真一郎¹、正岡 浩¹、槻宅 雅史¹、伊藤 司¹、
佐藤 皓平¹、長濱 道治¹、錦織 光¹、山下 智子¹、大舘 孝治¹、林田 麻衣子¹、
岡崎 四方¹、和氣 玲¹、稲垣 正俊¹
¹島根大学医学部附属病院 精神科神経科、
²不登校／こどもと大人の漢方・心療内科 出雲いいじまクリニック

P32 慢性疼痛に対し電気けいれん療法(ECT)を行った3例

○浅田 和志¹、深尾 貴志¹、李 大賢¹、山田 裕士¹、酒本 真次¹、高木 学²
¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学教室

一般演題10

統合失調症3

座長：児玉 匡史（岡山県精神科医療センター）

P33 遅発性ジスキネジア治療剤、バルベナジントシル酸塩を投与後に舌ジスキネジア、頸部ジストニアに対して改善がみられた統合失調症の1症例

○末丸 秀二、佐藤 圭子、行正 徹、前川 宗之、大下 真太郎、松尾 憲吾、水落 章、
境 宏一、中田 栄三、佐藤 智城、末丸 純子、末丸 修三、末丸 紘三、大藏 雅夫、
末丸 啓二
医療法人絃友会 福山友愛病院

P34 アリピプラゾールにより惹起されたアカシジアが、ブレクスピプラゾールに変更して軽快した統合失調症の二例

○長田 和也、水木 寛、山本 希美
下関病院

P35 若年性パーキンソン病を合併した統合失調症の一例

○杉田 隆裕¹、由田 実沙¹、大賀 健市¹、和田 健¹、川下 芳雄²
¹広島市立広島市民病院、²医療法人翠和会 養神館病院

P36 持続した自殺念慮、自傷行為に対して電気痙攣療法治療中に左上肢の深部静脈血栓症が合併した1例

○石川 真悠子¹、安部 裕貴¹、横出 晃能³、千田 真友子¹、藤原 雅樹¹、
竹之下 慎太郎¹、酒本 真次¹、高木 学²
¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学、
³社会医療法人恵風会 高岡病院

一般演題11

14:45~15:30

統合失調症4

座長：石川 一郎（香川大学医学部 精神神経医学講座）

P37 未治療期間が長く妄想が固定化し、治療に難渋した統合失調症の一例

○松本 洋一郎、中津 啓吾、藤田 康孝、矢田 博己
草津病院 精神科

P38 クロザピン誘発性肺炎による中止例に対し、安全に再投与し得た一例

○窪 渉
岡山県精神科医療センター

P39 米国人の初発統合失調症の一例

○奥田 康夫、板倉 征史
松江市立病院

P40 種々の薬物治療に対して反応性不良の統合失調症患者に対してオープンダイアログを取り入れ、寛解に至った1例

○新井 祐太¹、有馬 和志¹、福光 浩二²、坂本 泉¹
¹独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 精神科、
²独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 地域医療連携室

一般演題12

15:30~16:15

気分障害2

座長：町野 彰彦（呉医療センター・中国がんセンター 精神科）

P41 修正型電気けいれん療法（mECT）後に脳波異常と認知機能障害が遷延した老年期うつ病の1例

○辻谷 直哉¹、山梨 豪彦²、岩田 正明²
¹南部町国民健康保険 西伯病院、²鳥取大学医学部附属病院

P42 脳梗塞と転換症状の鑑別を要したうつ病の一例

○塩田 恭史、中山 知彦、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助
徳島大学病院 精神科神経科

P43 自殺企図後のうつ病患者に抗うつ薬と少量ステロイドを併用し奏功した1例

○山本 大介、高木 衣織、北代 晶帆、赤川 芳樹、土田 亜希、永野 志歩、澤田 健
高知医療センター 精神科

P44 当院におけるrTMS実施状況について

○山本 大地、梶谷 直史、山梨 豪彦、岩田 正明
鳥取大学医学部附属病院 精神科

一般演題15

16:15~16:50

器質・症状性精神障害3

座長：和田 健（広島市立広島市民病院 精神科）

P51 治療抵抗性うつ病として加療されていた進行性核上性麻痺疑いの一例

○石田 真璃¹、辻野 修平¹、竹之下 慎太郎¹、寺田 整司²、高木 学²

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P52 うつ病の再燃が疑われていたクロイツフェルト・ヤコブ病の1例

○藤沢 卓弘¹、鷺田 健二¹、池田 智香子¹、的場 翔也¹、浅田 貴大¹、宇野 健一¹、
山下 理英子¹、石津 秀樹¹、青木 省三^{1,2}、武田 俊彦¹

¹公益財団法人慈圭会 慈圭病院、²公益財団法人慈圭会 精神医学研究所

P53 亜鉛欠乏による味覚障害が被毒妄想へと発展したと考えられる認知症治療経験からの考察

○廣瀬 雅史^{1,2}、北野 絵莉子^{1,3}、和辻 健太^{1,3}、石津 秀樹⁴、石原 武士^{1,2}

¹川崎医科大学 精神科学教室、²川崎医科大学附属病院 心療科、

³川崎医科総合医療センター 心療科、⁴公益財団法人慈圭会 慈圭病院

一般演題18

16:50~17:25

発達障害

座長：寺田 整司（岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学分野）

P60 精神科病院における強度行動障害への取り組み - 院内多職種強度行動障害チームの立ち上げを通じて -

○羽原 悠平、児玉 匡史、大重 耕三、来住 由樹、山田 了士、中島 豊爾
岡山県精神科医療センター

P61 自閉症の顕著な破衣行為に対して炭酸リチウムが著効した1例

○中田 圭一、原田 俊樹、樋口 裕二、児玉 昌純、難波 達顕、白形 鷹博、大矢 芳男
さきがけホスピタル

P62 ダウン症候群における急激な生活機能変化に関する調査

○竹之下 慎太郎¹、寺田 整司²、上地 玲子³、桑野 良三⁴、井上 友和⁴、黒住 卓⁴、
檜原 幸二⁴、西川 直人¹、林 聡²、三木 知子¹、横田 修⁵、末光 茂^{4,6}、高木 学²

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学、

³山陽学園大学総合人間学部 ビジネス心理学科、⁴社会福祉法人旭川荘、

⁵きのこエスポアール病院、⁶川崎医療福祉大学 医療福祉学科

第46回中国・四国精神保健学会

プログラム

一般演題

一般演題 [中国・四国精神保健学会]

第1日目 11月10日(金)

第2会場 (8F イベントホール)

一般演題1

9:40~10:40

精神科リエゾン

座長：和辻 健太 (川崎医科大学総合医療センター 心療科)

M01 福山市民病院における認知症ケアチーム、精神科リエゾンチーム活動について

○竹本 圭輔¹、黒田 理子²、小田 幸治²、平 俊浩²

¹福山市民病院 看護部、²福山市民病院 精神科・精神腫瘍科

M02 岡山大学病院高度救命救急センターにおける精神科リエゾンの取り組み、公認心理師としての役割について

○廣部 貴恵¹、山田 裕士²、藤原 雅樹²、塚原 紘平³、高木 学⁴

¹岡山大学病院 医療技術部 臨床心理部門／臨床心理センター、

²岡山大学病院 精神科神経科、³岡山大学学術研究院医歯薬学域 救命救急・災害医学、

⁴岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

M03 岡山大学病院での緩和医療における精神科医・公認心理師の役割について

○神崎 あかね¹、三木 知子²、藤原 雅樹²、千田 真友子²、片山 英樹³、高木 学⁴

¹岡山大学病院 医療技術部 臨床心理部門／臨床心理センター、

²岡山大学病院 精神科神経科、³岡山大学病院 緩和支援医療科、

⁴岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

M04 島根大学医学部附属病院における精神科リエゾンチームの活動報告 ～せん妄予防として力を入れた活動について～

○兒玉 麻衣子¹、藤江 さとみ²、土江 唯子²、勝部 千賀子²、井上 美香²、曾田 重人³、
柳楽 真理子²、井上 歩美¹、松浦 和基¹、三成 綾¹、高野 由美子¹、長濱 道治¹、
大舘 孝治¹、稲垣 正俊¹

¹島根大学医学部 精神医学講座、²島根大学医学部附属病院、

³島根大学医学部附属病院 薬剤部

M05 精神科リエゾンチームの現状と課題 ～心理職としてのあり方を中心に～

○藤沢 直美¹、篠原 朝美²、石川 一朗²、中村 祐¹

¹香川大学医学部附属病院、²香川大学医学部 精神神経医学講座

一般演題2

10:40～11:40

認知症、高齢者医療

座長：武田 直也（十全ユリノキ病院）

- M06 不安のある認知症患者に対し、回想を用いながら残存能力を生かした活動を行うことで、安心できる時間の獲得を目指した事例
○長崎 隆
公益財団法人慈圭会 慈圭病院
- M07 高齢者の集団療法 認知的介入を中心に
○篠原 朝美¹、木戸 瑞江¹、石川 一朗¹、森 崇洋¹、大塚 智丈²、中村 祐¹
¹香川大学医学部 精神神経医学講座、²三豊市立西香川病院
- M08 興奮のある重度認知症利用者への対応について ～非言語的コミュニケーションを活かして～
○角 典子
医療法人養和会 養和病院 シルバーデイケア
- M09 認知症と糖尿病を併せもつ患者の行動変容から学んだこと
○山根 勝
社会医療法人昌林会 安来第一病院
- M10 もの忘れ外来で実施した嗅覚テストとパレイドリアテストの結果を検討する
○今井 奈緒¹、寺田 整司²、竹之下 慎太郎³、西川 直人³、藤原 雅樹³、廣部 貴恵¹、
矢部 真弓¹、堀内 真希子¹、高木 学²
¹岡山大学病院 医療技術部 臨床心理部門／臨床心理センター、
²岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学、³岡山大学病院 精神科神経科

一般演題3

15:30～16:15

救急・急性期医療

座長：岡本 幹徳（公益財団法人慈圭会慈圭病院）

- M11 精神疾患患者の周産期管理 ～多職種連携における精神科看護師の役割～
○山根 慶子、河野 由香、太田 耕一
岡山大学病院 看護部 入院病棟
- M12 総合病院精神科病棟の役割と今後の課題 ～自殺企図後の身体管理が必要な患者の事例を通しての検討～
○飯尾 高幸
岡山大学病院 看護部 入院病棟
- M13 広島県福山府中二次保健医療圏域における自殺未遂者支援対策と地域連携
○岩本 渉、平 俊浩、小田 幸治、黒田 理子、高村 由貴
福山市民病院 医療支援センター 地域医療連携課
- M14 精神科スーパー救急病棟における精神保健福祉士の取り組みについて ～関わりを通して見えてきたもの～
○青山 しおり、二宮 博之、濱田 晃平
公益財団法人慈圭会 慈圭病院

一般演題4

16:15～17:00

慢性期医療1

座長：矢野 裕美（特定医療法人万成病院）

M15 安定した病棟生活を可能にした看護師の関り

○松本 絵理、小林 啓子、本田 功
社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル

M16 クロザピンに関する主観的客観的評価による運動療法と白血球数・好中球数が相関した1例

○樋之津 健二¹、河合 弘樹^{1,2}、和田 菜那美²、酒本 真次¹、岡久 祐子¹、高木 学³
¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学、
³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

M17 精神症状と消化器症状への適切なアプローチの実現を目指して

○村田 秀樹、井町 直樹、西本 光範、小川 高宏、佐藤 彩、松本 大輔、藤野 義和
医療法人水の木会 下関病院

M18 入院中に確認強迫を呈した統合失調症患者に対して行動療法に基づき介入した症例

○西川 啓祐、堂端 竜志、荒木 麻美、松山 剛、磯村 信治
山口県立こころの医療センター

一般演題5

17:00～17:45

慢性期医療2

座長：安藤 秀樹（一般財団法人江原積善会 積善病院 看護部）

M19 行動の般化が困難な患者における看護支援に関するカルテ調査 ～トークンエコノミー法を通じて～

○南里 悠介、鳥生 野花
医療法人せのがわ 瀬野川病院

M20 長期入院統合失調症患者に対する疾病管理とリカバリー (IMR) を用いた支援 - IMRの継続的支援の経過と効果 -

○荒木 義大、難波 多鶴子、戸村 真澄、持田 あゆみ、多賀 利恵
公益財団法人慈圭会 慈圭病院

M21 コミュニケーションに苦手を抱えている発達障がいの利用者支援 ～チームで統一したアプローチを行って～

○福島 眞優美
社会医療法人昌林会 共同生活援助事業所 コミュニティハウスあさひ

M22 幻聴に影響を受けやすい利用者へのアプローチについて ～将棋を通じたコミュニケーションを試みて～

○水野 雄介、岩崎 規敬
社会医療法人昌林会 共同生活援助事業所 コミュニティハウスにしき

第2日目 11月11日(土)

第2会場 (8F イベントホール)

一般演題6

9:30~10:05

医療における安心と安全 座長：森田 陽子 (社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル)

M23 長期身体拘束患者に対する拘束解除に至るまでのケア ～個の思いからチームの思いへ～

○浦矢 真二、原野 理絵
公益財団法人慈圭会 慈圭病院

M24 精神科病棟における防災訓練時の避難誘導に関する調査 -独自のアクションカードの有効性-

○畑 隆司、野地 あき、横井 秀俊、岡野 悦子
広島市立病院機構広島市立広島市民病院 看護部

M25 安全と統一性を重視した病棟のケア提供 ～褥瘡予防・対策に対するチームの取り組み～

○梶谷 律子、石原 明美
公益財団法人慈圭会 慈圭病院

一般演題7

10:05~10:40

退院支援

座長：難波 啓子 (医療法人社団良友会 山陽病院)

M26 A氏の地域生活の希望を実現のために措置入院後の退院支援に苦慮した一例

○三輪 大二郎、荒金 香織、津田 瑞貴
社会医療法人昌林会 安来第一病院

M27 認知症を患う長期入院患者の家族への関わり ～退院に対する思いの変化～

○植田 洋介、八塔 達寛、黒川 由美
公益財団法人慈圭会 慈圭病院

M28 自傷行為から再入院を繰り返す患者への生活環境の調整と自尊感情の変化を考察した退院支援

○大塚 敏雄、坂本 章
公益財団法人仁和会 ももの里病院

一般演題8

10:40～11:25

社会適応支援1

座長：福森 淳哲（公益財団法人慈圭会 慈圭病院デイケア）

M29 岡山市における精神障害者の地域移行・地域定着の取り組み

○川上 俊輔¹、中井 志穂¹、日笠 美孝¹、奥田 真由美¹、田坂 一弥¹、木本 達男²、
妹尾 忍³

¹地方独立行政法人岡山県精神科医療センター 相談支援センター鹿田、²岡山市保健所、

³岡山市こころの健康センター

M30 外来患者へのアンケートから見る当院デイケアの課題 ～患者のニーズに沿ったデイケアを目指して～

○日下 早代、宗安 美佳

社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル

M31 地域で生活する精神障がい者の自己効力感獲得への援助 – トラベルビーの看護理論を用いた関係構築の検討 –

○田中 朱美、森山 有加、高塚 洋平、林原 実

社会医療法人昌林会 安来第一病院

M32 新型コロナウイルス感染症対策を通して変化したこと ～精神科デイケアでの新たな取り組み～

○遠藤 貴宏、植田 泰斗

社会医療法人昌林会 安来第一病院

一般演題9

14:00～14:45

社会適応支援2

座長：初鳥 日美（岡山県精神科医療センター東古松サント診療所）

M33 個別就労支援IPSにおけるBACS (Brief Assessment of Cognition of Schizophrenia) を用いた神経認知機能評価の実践

○高井 優花、福武 周作、中岡 恵理、河原 理華、新井 亨、原田 紀行、引地 充

社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル

M34 デイケアにおけるメタ認知トレーニングの有用性について ～復職支援に着目して～

○池田 晶代、曲淵 馨子、國弘 航、尾田 由香、岩本 賢治、池田 まな美、

小林 理子、綿貫 俊夫

医療法人和同会 吉南病院

M35 就労支援に対する当事者中心のグループ活動 ～オープンダイアログの要素を取り入れて～

○三野 与喜、木曾 光輝、三宅 秀樹、大西 順子、西紋 孝一

医療法人社団中和会 西紋病院

M36 精神科病院におけるIPS個別就労支援導入の成果

○中岡 恵理¹、原田 紀行¹、高井 優花¹、新井 亨²、河原 理華¹、福武 周作¹、
引地 充¹

¹社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル、

²社会医療法人高見徳風会 就労継続支援B型作業所ウイズ

一般演題10

14:45～15:30

精神科の各種療法

座長：大羽 博志（公益財団法人慈圭会 慈圭病院）

- M37 当院における総合失調症患者への心理教育が及ぼす効果について ～再入院予防の一考察～
○木野内 留美、伏見 みゆき、馬野 義徳、市村 暁子、前田 結布花、広田 涼子、
木村 尚弘、野村 晃
公益財団法人仁和会 ももの里病院
- M38 OCD傾向のある患者に対するUP-Gの効果
○浅岡 聡、長谷川 麻里、漆谷 紗耶、豊國 千穂、園島 安澄、土師 裕子、島 真弓、
大島 京子
医療法人社団更生会 草津病院
- M39 NEARの効果検討
○長谷川 麻里、浅岡 聡、吉田 保奈美、大村 真衣、遠北 美和、村田 貴徳
医療法人社団更生会 草津病院
- M40 外来における制止検索モデルによる暴露療法と薬物療法の併用が奏功した強迫症の一例
○安藤 ひかる、大林 芳明
医療法人大林会 福山こころの病院

一般演題11

15:30～16:15

労働環境整備

座長：山本 里子（公益財団法人仁和会 ももの里病院）

- M41 精神科病棟の臨床においての患者から看護師への暴力被害後のディブリーフィングの実態
○三谷 豪、谷口 拓馬
公益財団法人慈圭会 慈圭病院
- M42 精神科病棟に従事する看護師の抱えるストレスの実態 ～看護師への意識調査で分かったこと～
○山崎 伸弘、上地 彩映、田上 健太、大崎 浩徳、玉元 徹
医療法人つくし会 南国病院
- M43 カンファレンスをもちいた倫理・接遇向上の取り組み
○寺川 旭、浦田 将太、與永 あやか、畑村 亜衣加
医療法人水の木会 下関病院
- M44 インシデントレポートの電子化による分析と効果、期待
○前場 幸登
医療法人大林会 福山こころの病院